

揖斐郡PTA連合会研修会Ⅱ



子どもたちの心や体は丈夫ですか？



適応障害の児童生徒の支援について

～愛着障害や学習障害との関わりを通して～

臨床心理士・公認心理師

井上修一



自己紹介

臨床心理士・公認心理師 です。

現在は、各務原病院での相談業務が中心で、西濃地区のスクールカウンセラーもしています。

昨年度は複数校勤務していましたが、病院勤務の増加に伴い、本年度は1中学校区の4小学校を担当しております。

専門はトラウマ治療（EMDR）です。



適応ってなんだろう？

学校や会社に行けないこと＝不適応？適応障害？

今の状態だと、学校や会社に行くことで自分が壊れてしまう

→行かないこと＝適応？

◇適応障害って何を治療するのか。

◇適応指導って、何を指導するのか。



我々が考える適応障害

社会（学校・会社・地域など）への適応障害

自分の思いに適応できない人ではない

社会に適応できていないこと＝適応できない人ではない。

このような視点が大切なのではないか。

不登校・リストカット・ゲーム依存



社会への適応障害の原因の一つ ～愛着障害～

- ムラのある多動

いつも多動というわけではない。
そのときの感情に左右される。

- 片付けができないように見える。

片付けようという意欲が育っていない。



社会への適応障害の原因の一つ ～愛着障害～

- ルールを守れないように見える。
守ったときのポジティブ感情がわからない
- 「取り上げない」支援がうまくいかない。
注目されたくて、かえって増えてしまう。



社会への適応障害の原因の一つ

愛着障害

「特定の人との間に結ぶ情緒的な絆」の形成が不完全

特定の人＝主たる養育者

症状：感情コントロールの困難



愛着形成に必要な基地機能

① 安全基地機能

恐怖や不安から自分は守られていると感じる機能

② 安心基地機能

落ち着く、ほっとするなど、ポジティブ感情を育む機能

③ 探索基地機能

安心して自立できる働きをする積極的な機能



どうかかわればよいか？

☆キーパーソン（特定の人）を決め、1対1の関係づくりをする。

●感情学習を行う。

気持ちに名前をつけて、言い当てる。

→感情発達の促進

●キーパーソンと一緒に

「～をしてみたら、こんな気持ちになった。」体験を増やす。

→愛着対象を意識→安全・安心基地機能を育てる。



愛着障害は…

薬物療法では治らない。

カウンセリングや心理療法でも難しい。

セッション学習をしてもうまくいかない。

→ 日常生活の中でしか修復は困難

どの発達段階の人でも、大人でも



学習障害とは

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、
聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。（文科省）



学習障害の症状

- 読み（ディスレクシア）、書き（ディスグラフィア）が困難
- 算数・計算（ディスカリキュリア）が困難
- 推論の困難

人によって、症状は様々



支援について

①個別のアセスメント

どう見えているのか。

どのくらい力が入っているのか。

どのくらいストレスがかかっているのか。

△アセスメントの主体＝教育現場（学校の先生）

家 庭（保護者）

⇒ 発見や支援の困難さ



支援について



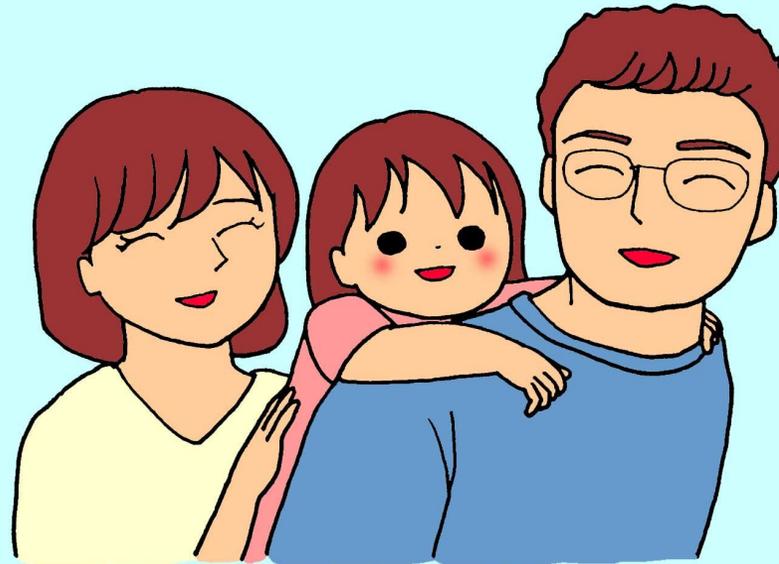
②支援方法を考える。

訓練的支援…つまずきに応じた学習活動

補完的支援…PCなどの機器の活用



子どもも親も悲しい思いを
することが
なくなりますように



ご清聴ありがとうございました

